

小樽市生活支援体制整備事業 第1層生活支援コーディネーター業務
半期報告書（4月～9月）

第1層生活支援コーディネーター
菅田 葉月

4月から事業を請け負いましたが、コロナ禍での活動自粛の影響で事業の計画が大きく遅れています。

しかし、これまで第1層協議会参画団体とは会議形式での情報共有が主で個々で話す機会が少なかったが、個別に訪問できたことで個々の想いや状況をくみ取ることができ、関係づくりには良い機会を得られたと感じています。

【項目ごとの業務活動報告】

（2）生活支援等サービスのコーディネートに関する業務

ア 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

- ・5月後半に第2層生活支援コーディネーター（以下第2層SC）を個別訪問
- 9月に第2層SCと情報交換の会議開催
- ・地域お役立ち手帳に掲載されている情報を地図上に配置し地域特性を分析した。
- ・コロナ禍で訪問を望まないケースが多く、地域課題と現行資源サービスのマッチング状況の把握には至っていない。
- ・道のアドバイザーを訪問し、地域課題把握の方法や活動指針についての助言を求めた。

イ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ

- ・活動内容や方針について広報するチラシを作成し、配布を始めた。チラシを持参し直接面談を予定していたが、実施できていない。
- ・1層協議会の参加団体を個別に訪問し、行っているそれぞれの地域の活動について聞き取り、1層SCの活動へ引き続きの協力を依頼した。

ウ関係者のネットワーク化

- ・第2層 SC との情報交換、他町村の SC との情報交換をおこなった。
- ・北海道 SC 養成研修基礎編に参加しネットワーク作りができた
- ・HARP 事業への協力

エ 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一

- ・10月から開始の計画であったが、道のアドバイザーの助言もあり広報紙を作成し、「活動を知ってもらう」ことを先行して実施

オ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発（11月から開始の事業計画）

- ・リハ職とフレイル対策について検討

（3）第1層生活支援体制整備協議会との連携・協働に関する業務

- ・初回は活動自粛期間中のため第1回協議会会議は書面決議開催
- ・第1層協議会参画団体を個別に訪問し、現状の聞き取りや情報交換を実施

（4）第2層生活支援コーディネーター及び第2層生活支援体制整備協議会との連携・協働に関する業務

- ・活動自粛期間が長引き、対面での面談を自粛する傾向がつづいており、毎月の訪問は難しかったが、相談できる関係づくりを少しずつ進めている。

参加研修

- ・北海道生活支援コーディネーター養成研修基礎編
対面受講（8月25, 26日）
- ・北海道地域福祉学会
「COVID-19 感染対策下における地域福祉活動の展開」
オンライン受講（8月24日）